

1999年6月発行

発行：大阪女子短期大学高等学校ふじなみ会

〒583-8558 藤井寺市春日丘3丁目8番1号

TEL (0729) 55-0718 (代)

FAX (0729) 55-5211

ふじなみ



校長 谷岡 太郎

校長先生挨拶

希望致します。

私の父が、大きな期待をもつていたのはこの会のことでした。私にこの会がよくなる様にと話していたことを思い出します。皆様が互いに連絡しながら互いに助け合っていくことを願っていました。私は、この会が皆様の為に色々のことを話し合いながら進んでいくことを願っています。この会の皆様は学校の誇りです。このことを知り、互いに助け合っていくことは本当に嬉しいことです。この会がよくなることを願っています。幸いによい人達が集まり、この会が出来たことを喜んでいます。私も全力をあげて協力します。今の世の中は難しい時代です。何事にもくじけないで前進したいものです。

ふじなみ会の皆様にひとことお礼申し上げます。長らくこの会のために努力されたことに深く感謝申し上げます。長らく多くの皆様が色々のことがありながら、この会につくされたことは歴史の通りです。このたび会報を創刊されることは喜ばしいことです。この会が発展することを



ふじなみ会会長 室谷 千代子

同窓会員の皆様、お元気で各方面でご活躍のことと存じます。

今年、谷岡学園創立七十周年をめでたく迎えられ、この記念すべき時を同じくして、会報誌「ふじなみ」の発刊に至る運びとなりましたことと、幹事役員一同、大変嬉しく思っております。母校では、谷岡学園長の熱き教育理念のもと、より良いキャンパスの施設の充実を掲げられ、

しうる有為な人材の育成に全力を注ぎ着実に実績を育んでおられる本学園で学び、巣立つことができましたことを、とても誇りに思っております。更に、日々発展する母校は、私たちの大好きな励みでもあります。そして、この会報誌が、母校と会員相互の一層の交流と親睦を深めるかけ橋として、より多くの会員様にご参加いただけ、末永く母校の歴史と共に紡がれ続けることができれば、なんと素晴らしいことでしょう。

この発刊にあたりまして、谷岡校長の暖かいお力添えと、諸先生方、前加藤事務局長をはじめ、職員の方々の多大なるご協力を戴き、心より厚くお礼申し上げます。又、今日まで同窓会を盛り立てて下さいました諸先輩方に深く感謝いたしますと共に、今後とも会員皆様のご支援、ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げ、ご挨拶といたします。

皆様によります様願っています。



● (右上) 新学舎パース
(上) 新学舎エントランスパース



事務センター 課長 小西 憲二

輝かしい二十一世紀に

向け、藤井寺キャンパス

待望の新校舎（高校棟・

短大棟・食堂棟・憩いの

広場）建設工事が、平成

十年十月より着手し、新

校舎は平成十二年二月、

食堂棟及び広場の整備は

平成十三年二月の竣工予

定で進めています。

今回の事業計画を進め

るにあたってのコンセプトは、緑の豊かさを生か

し、地形の変化、水辺空

間をより魅力あるものと

し、生徒・学生・教職員

にとつてリラックスでき

る居住性の高い施設づく

りに配慮しています。
建設の構成としては、キャンパスの顔となるエントランス部分に新校舎を配置しています。新校舎内の高

校ゾーンには、特別教室（美術室・音楽室・書道室）、図書室、保健室、職員室等を設け、短大ゾーンには、講義室、実験・実習室の他、多目的利用可能な大講義室を設け、地域住民との文化交流の発展にも寄与するものと考えます。

また、キャンバス中央部分には、自然に開まれた開放感のある雰囲気

の中で食事ができる食堂棟を配置し、広場においては、植栽に変化を

もたせ四季を味わえるように考慮しています。

このように、事業を進めていますので、変わりつつあるキャンバスに

ご期待いただき、近くにお越しの節

は、お気軽にいつでも立ち寄ってく

ださい。

緑空間の豊かなキャンパスへと

会報発刊に寄せて

会報創刊に寄せて

創刊によせて

辻詫 昇(年令九十六歳)

配りに感謝しながら、校正を一頁一

頁やり終え、校了原稿を印刷屋さん
に手渡した時の感慨は今も忘れるこ
とが出来ません。機器の発達した現

前会長 宮井 江美子

ふじなみ会の会報が発刊されると
承り心からお祝い申し上げます。谷

岡学園創立七十周年に時を同じくし
て、同窓会もまた会報が出来、新し
い出発をすることはとても嬉しいこ
とと存じます。

昭和三十六年、当時のふじなみ

会々長の清水さんより会長を引継い
で、当初は名ばかりのスタートでし

たが、昭和四十年代半ばに故山口副
校長先生の肝入りで、副会长三人制
が敷かれ役員によって同窓会を運営

出来る体制が整い、少しずつではあ
りましたが総会の企画や案内など役
員の手で行えるようになりました。

当時の総会はバスツアーが主流で、
彦根、伊賀上野、多武峯など各地を
廻り、会員の皆様や先生方との楽し
い一日を持つことが出来ました。



…会報発刊によせて…

奉仕精神極瑞祥
無窮隆運学校運揚
創立連綿七十霜

霧開氣を伝える数葉を選び出しまし
た。連日学校へ寄せていただき、同
窓会担当の山本さんや池田さんの気
高時代の旧校舎や現在の校舎で最も
信費のオーバーには目をつむり、各
学年の委員の方々にも協力していた
だき空白を埋める作業を続けまし
た。掲載する写真の選定に現存する
アルバムをすべて閲覧し、高女、中
学校へ寄せていただき、同窓会担当の
山本さんや池田さんの気

本年はご承知の通り、谷岡学園創
立七十周年のお目出度い年に、高等
学校卒業生の会報を企画創刊されま
すことを心からお喜び申し上げま
す。

これから新報は、高等学校同窓生
の「ムスピ」役として発行されるこ
とでしょう。又、会員各位の心境向
上をはかる新報として、多種多様に
亘っての記事も掲載されることでし
ょう。

皆様はこの会報を通していついつ
までも同窓会が発展しますよう、一
層のお力添えをお願い申し上げます

と共に皆様の御健勝と御多幸をお祈
り申し上げ、お祝いのことばと致し
ます。

昭和六十三年七月、文部省に生涯
学習局が設置され、国を挙げて高齢
者をはじめとする、社会人の生涯学
習の重要性が強調されるようになりました

このグリーンセミナーには、次の
三コースがあります。

各地の自治体・公民館・大学等が
これに取り組み、本学でも一足速く
(昭和六十二年) 短大独自の企画と
して、藤井寺市・藤井寺市教育委員
会協賛のもとに、「よりよき市民生
活のために」とのメインテーマで、
年間一回の公開講座が開設され、今
日に至っております。

辻詫先生プロフィール

昭和37年～昭和49年、国語科
でお世話をなった辻詫先生です。
平成十年度のふじなみ会総会では、
お変わりのないはりのあるお声で御祝辭をいただき、漢詩
を披露していました。
次回の総会も、ふじなみ会一
同、お元気で御出席していただ
けますよう楽しみにしておりま
す。

母校に『グリーンセミナー』開設される

前事務局長 加藤 利夫
(現・谷岡学園法人本部参考)

市・羽曳野市の両市長列席のもと

平成十年四月二十五日、藤井寺
市・羽曳野市の両市長列席のもと
に、グリーンセミナー開講式が举行
され、第一期生延べ百三名の受講が
始まりました。

企画段階で予測していた受講者数
を大幅に上回り、市民皆様の学習に
対する関心の深さに、あらためて驚
いた次第です。

その後の受講状況も、第二期生延
べ百二十七名、第三期生(生涯学
習のみ)延べ九十二名、平成十
一年一期生延べ百六十三名、回を

コースのみ)延べ九十二名、平成十
一年一期生延べ百六十三名、回を

大阪女子短期大学高等学校 平成11年度

主要な年間行事(予定)

4月 入学式 始業式 対面式 オリエンテーション
学力テスト 健康診断

5月 中間考査 スポーツテスト 避難訓練 性格テスト
校外学習

6月 コーラス大会 弁論大会

7月 期末考査 終業式 三者懇談

9月 始業式 実力考査 緑涼祭(体育の部、文化の部)
芸術鑑賞

10月 中間考査 修学旅行(2年生)

11月 避難訓練 生徒会役員改選

12月 期末考査 終業式

1月 始業式 実力考査 卒業考査(3年生)

2月 入学試験 進路座談会

3月 卒業式 学年末試験 終業式



「感謝と発展」-集い-

七十年の長きにわたり学園を支えていた方々への、感謝の意を表すとともに更なる発展を期す会として、盛会裡のうちに終了しました。

今回の記念式典には、設置校との間で提携を行つてゐる海外の大学等が招待されました。本校も平成七年まで十年間にわたつて修学旅行でお世話になつていた韓国の昌文(チヤンムン)女子高等学校を招待しました。同高等学校と本校とは、修学旅行がオーストラリアに変更された後も、お互いにホームステイによる交流を現在まで続けています。

さて、十五日に記念式典及び祝賀会が、リガロイヤルホテル大阪で行われました。第一部は招待者(官公庁、学校、企業関係)約七百五十人、第二部は学園教職員関係者七百人が出席しました。

昭和二十九年に相愛第二高等学校(学校法人藤井寺学園)を本学園が引き継ぎ、校名を「大阪商業大学附属女子高等学校」としてスタートし

ます。昭和三十年四月に大阪女子短期大学が開学されたのを機に、校名を「大阪女子短期大学附属高等学校」と改称、その後、平成四年度から「大阪女子短期大学附属高等学校」となり、現在に至っています。商大附属女子高から数えても、既に四十五年目の歳月が流れています。

さて、本題に戻りますが、七十周年を記念する行事として、本年一月

本校の歴史を振り返つてみたいと思います。記念事業について述べる前に、

か。記念事業について述べる前に、

本校の歴史を振り返つてみたいと思

います。

午前中に学生・生徒対象の「みやび

音楽会における今後の周年事業を紹介します。平成十一年十月六日(水)

に藤井寺市立市民総合会館大ホール

でコンサートと講演会を行います。

さて、最後になりましたが、藤井

寺市立市民総合会館大ホール

でコンサートと講演会を行いました。

- ① 「思いやりと礼節」
- ② 「基礎的実学」
- ③ 「柔軟な思考力」
- ④ 「楽しい生き方」



大阪女子短期大学
Osaka Women's Junior College



大阪女子短期大学高等学校
Osaka Women's Junior College High School

シンボルマーク誕生!

大阪女子短期大学
高等学校的シンボルマークです。

マークです。

